

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	さいたま文学館
指定管理者	公益財団法人けやき文化財団
評価対象年度	平成28年度
施設所管課	教育局生涯学習文化財課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の安心・安全、平等利用の確保	安全性の確保	A	適切な事故防止対策等がされており、安全性は確保されていた。
	法令等の遵守	A	法令等の遵守について、適切に処理されていた。
	平等利用の確保	A	適切に処理しており、平等利用は確保されていた。
施設の設置目的の達成	事業の実施	A	施設の稼働率は目標を上回ったが、文学ホール及び研修室3の利用促進は引き続き課題である。 (目標)60%以上 → (実績)61.0%
	利用状況	A	利用者数が目標を上回った。 (目標)63,100人 → (実績)66,188人
	適切な管理の履行	A	協定書や事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	文学資料の適切な管理・展示	A	燻蒸消毒を行い、中性紙の箱で保存するなど文学資料の劣化防止に努めている。
	財産の適切な管理	A	適切な財産管理がなされていた。
利用者サービスの向上	サービス内容の向上	A	高齢の利用者に配慮し、研修室3(和室)に机・椅子を設置してサービスの向上に努めた。
	利用者の満足度	A	利用者サービスの向上などに努めた結果、昨年度と比較し、若干低下しているが、目標は上回った。 (目標)職員対応85%以上 → (実績)93.6%(H27 95.8%) (目標)施設自体85%以上 → (実績)92.7%(H27 96.1%)
総合評価		A	適切な管理・運営がなされており、概ね良好である。

特記事項	特に評価すべき点	適切な管理・運営がなされており、管理目標についても目標を達成している。特に利用者数については、目標を大きく上回っている。
	次年度に向けて改善が望まれる点	利用者満足度が昨年度と比較して低下しているため、利用者ニーズの一層の把握及び対応について検討すること。ホームページなどを活用した積極的かつ効果的な広報の実施に引き続き努めること。